

## 令和3年度 自己評価表

令和3年度を振り返り、職員が各自の自己評価を行いました。より良い教育保育が出来るよう日々努めてまいりたいと思います。

### <<教育・保育や自己資質等で高く評価出来る点>>

- ・園児の個々の発達過程に合わせて目標を設定し、その子にあった言葉掛けをして、関わっていった。その結果成長が見られなかった場合には周りの保育教諭に相談し様々な角度から関わり、その園児に合った関わりが出来るように努めた。
- ・月齢差のあるクラスを担当していたので、一人一人に合った声掛けや、その子の生活を理解し、安心できるスキンシップや、能力を伸ばすような援助を心掛けた。
- ・子どもの状況や職員配置によって臨機応変に活動内容を変え、安全に遊ぶことができた。身体全体を使う活動から指先を使う活動まで、こども達の発達に合わせた保育を行うことが出来た。
- ・柔軟に行動、保育をしていくことができた。静と動の保育をしていく中の静の部分で、一人一人に対しての声掛けや手遊びを丁寧に行いながらこちらに注目を集めることが出来た。

### <<教育・保育や自己資質でより努力を要する点>>

- ・教育・保育の専門家として資質の向上に努め、成果を上げることが出来た。今後、必要とする内容は、一人一人の食事の進行や発達段階の把握をしっかりとしていくことである。
- ・園児一人一人の発達に合わせた遊びを十分に行えるよう遊びを提供したり、環境設定を行っていく。雨の日が続いたときなど、静と動を意識した遊びを提供するよう努めたが、同じような活動になってしまうことがあった。
- ・保育の専門家としての知識を今以上に増やしたり、情報収集をしたりと、自分自身の資質を高める努力が足りなかった。今年度は研修を受ける機会があったが研修だけでなく、園内研修や本など様々なところから知識や、情報を得て、保育に生かしていきたい

### <<教育・保育や自己資質で次年度に改善すべき点>>

- ・様々な知識や情報を得て、園児の発達過程や状況に応じた保育を充実させたい。ピアノや手遊び、ゲームなど新しいものを取り入れ、園児が充実感達成感を味わい、楽しめるように努めていきたい。
- ・怪我・事故を防止しながらも園児がのびのびと遊びを展開出来るようにコーナー遊び同士の間隔を取ったり、集団遊び取り入れて場所を広く使ったりと環境の見直しを再度行い遊びの幅が広がるように考えていきたい。
- ・常に一対一にならないよう、全体を見て、怪我などがおこらない配置ができるよう気をつけていきたい。クラス内で沢山話し合いを行い、個々の様子を共有していきたい。